

私は長年培った小売業の経営指導経験や、平成の大合併時の合併協議会で観光資源開発に携わった経験があります。この経験を活かし、商工会職員として、学生の頃から興味のある地域活性化や町おこしに貢献できると考えます。

私が地域活性化や町おこしに興味をもった最初のきっかけは、幼少期の頃慣れ親しんだ福岡の駅前商店街がシャッター通りとコインパーキングになっていることに衝撃を覚えたからです。大学のゼミやサークルで独自に調査を行い、時代が少子高齢化に向かい人口減少する中、以前と異なり地域活性化や町おこしが従来の事業方法では難しいという壁にぶつかりました。

学生の頃は大学院まで進み研究しましたが、家庭の事情などもあり、思い半ばで答えを出すことができずにいました。その後、最初の就職先ではワークシヨップを展開するなど、経験を積み、次の職種では経営指導を経験しました。結婚をし家族も増える中、最初の志から遠のいていくのも事実でした。しかし、現在の仕事をする中、大きな問題点に気付いたのです。それは「働き手がない」ということです。現在の仕事はオーナーへの経営分析ですが、売り上げ低下の原因が、客数減少ではなく、内部の人手不足によるオペレーションの崩壊が原因だったのです。

フランチャイズチェーンは、後継者がいなくとも「別の誰か」が看板を背負えばいいというパッケージングの強みがあります。しかし地域が活性化しなければ、そもそもあらゆる分野で人手が不足するのが現実です。改めて「町づくりが人づくり」である現実を感じました。

私は最初の志を基に今までの経験を活かし「人づくり」に力を入れていきたい、それが後継者育成やそれに関わる新事業提案へつながり、時代の流れを打破する一つの切り口になると考えています。

最後に私の強みは地域の文化歴史が好きなことから、今まで九州沖縄で回った百以上の町の人の特性や町の構造そのものを目で見て、聞いてきています。この知識は仕事の経験とは別の趣味に近いものですが、他の人間にはない特性として熊本の地域活性化へつながることができると考えています。